

会議議事録（要旨）

1	会議名	令和5年度 第1回 長岡市地域公共交通協議会
2	開催日時	令和5年6月14日(水曜日) 午前10時00分～午前11時20分
3	開催場所	フェニックス大手イースト まちなかキャンパス5階 交流ルーム
4	出席者名	水島会長、佐野副会長、吉田委員(代理：吉田様)、中山(謙)委員、橋本委員、小川委員、水口委員、神田委員(代理：阿部様)、松木委員、中川委員(代理：齋藤様)、山本委員、中山(精)委員、高木委員、横澤委員 【欠席】 玉巻委員、山田委員
5	議決事項	(1) 令和4年度事業報告及び令和4年度歳入歳出決算報告 (2) 令和5年度歳入歳出予算の変更 (3) 栃尾地域におけるデマンド型乗合タクシーの運行 (4) 「地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金」計画書
6	協議事項	(1) 地域内生活交通の利用状況 (2) 令和5年度事業内容
7	協議結果の概要	・議決事項(1)～(4)について承認された。
8	審議の内容	
	【その他】	委員の交代について
	事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・公益社団法人新潟県バス協会の高橋委員が橋本委員と交代。 ・国土交通省北陸地方整備局長岡国道事務所の瀧澤委員が水口委員と交代。 ・新潟県長岡地域振興局地域整備部の田中委員が神田委員と交代。 ・国土交通省北陸信越運輸局新潟運輸支局の島谷委員が山田委員と交代。
	【議決事項】	(1) 令和4年度事業報告及び令和4年度歳入歳出決算報告
	事務局	資料に基づき、議決事項(1)を説明。
	委員	<ul style="list-style-type: none"> ・会計監査を行い、歳入・歳出に関する帳簿並びに書類等は、いずれも適正に処理されていたことを確認した。 (質疑応答なし)
	会長	<ul style="list-style-type: none"> ・議決事項(1)を承認してよいか。 (承認された)

【議決事項】	(2) 令和5年度歳入歳出予算の変更
事務局	資料に基づき、議決事項(2)を説明。 (質疑応答なし)
会長	・議決事項(2)を承認してよいか。 (承認された)
【議決事項】	(3) 栃尾地域におけるデマンド型乗合タクシーの運行
事務局	資料に基づき、議決事項(3)を説明。 (以下、質疑応答)
副会長	・運行実績について、曜日別や便別などもう少し詳しいデータを提供いただければよりよい議論ができると思う。
事務局	・次回協議会でお示しする。
会長	・議決事項(3)を承認してよいか。 (承認された)
【議決事項】	(4) 「地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金」計画書
事務局	資料に基づき、議決事項(4)を説明。 (質疑応答なし)
会長	・議決事項(4)を承認してよいか。 (承認された)
【協議事項】	(1) 地域内生活交通の利用状況

事務局	資料に基づき、協議事項(1)を説明。 (以下、質疑応答)
副会長	・利用者数の経年変化だけでなく、コストの経年変化も見ることでより課題の把握ができると思う。
事務局	・1人あたりの輸送単価を試算した結果、小国地域生活交通、寺泊・和島地域デマンド型乗合タクシーで1人あたり約4,500円、山古志・太田地区地域生活交通で約3,300円、川口地域生活交通や栃尾地域デマンド型乗合タクシーで約1,600円～1,800円くらいとなっている。
委員	・栃尾地域デマンド型乗合タクシーについて、なぜ冬場の利用が多いのか。 ・1便当たりの利用者数が平均約2.5人であるが、ジャンボタクシーは運行されていないのか。 ・先ほど1人あたりの単価を示してもらったが、延べ利用人数なのか、実利用人数なのかで捉え方が変わってくると考えられる。
事務局	・聞き取りの範囲であるが、冬場の車の運転が心配であったり、春から秋は自転車で移動する方が利用していることが挙げられる。 ・ジャンボタクシーの運行頻度について、5人以上の利用がある便の数をカウントすると、全体の約10%にあたる。
委員	・タクシー車内は狭い空間であり、感染症に関するリスクヘッジが今後の課題であると考えているため、対応をご検討いただきたい。
委員	・P23に、運転できる高齢者の増加とあるが、その要因はなにか。
事務局	・従来からコミュニティバスやデマンドタクシーを利用している方は70代や80代が多く、その世代では元々免許を所持していない方が多かったが、今では50代や60代でも免許を所持する方が大半であり、世代交代が進むにつれて、車を運転できる高齢者が増加しているものと考えられる。また、健康であったり、70代でも運転に自信のある方が多いことも以前行ったアンケートから読み取ることができる。

【協議事項】	(2) 令和5年度事業内容
事務局	資料に基づき、協議事項(2)を説明。 (以下、質疑応答)
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・デマンド型乗合タクシーの補助金について、長岡市の予算で計上しているものと協議会で計上しているものがあるのはなぜか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・全体としては長岡市の補助金を事業者に支払うようにしており、協議会に入ってきた国庫補助金は特定財源として長岡市へ負担金として支出している。
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・施策11のわかりやすい情報提供において、システム保守で約788万円かかっているが、問題ないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・年間約788万円の内訳として、サービス使用料や年間の保守委託のほか、通信料として150～160万円支払いをしている。事業者と協議を進めており、車両台数が減少した場合はその分減額してもらうとともに、通信費がサービス使用料に含まれる予定であり、来年度以降は150～160万円の減額を見込んでいる。
【その他】	路線バスキャッシュレス決済実証実験の実績 (以下、全体意見)
事務局	参考資料に基づき、くるりんキャッシュレス決済の実績について説明。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・キャッシュレス決済についてはご報告の通りである。 ・中央環状線くるりんについては約2年かけてキャッシュレス決済が定着してきた。特に内回りの通勤者で利用されており、回数券からICカードへ切り替えた人も増えていると考えられる。 ・EVバスを導入したことで、車両目的で乗車されている方も見られる。週末のお子様、特に長岡市外から電車で来られてセンタープラザ方面へ行く方で、キャッシュレス決済とEVバスによる運行によって利用者・収入増加につながっていると考えられる。引き続き、週末の若い世代が買い物や映画館等を目的とした利用が増えることでICカードの比率も高まるのではないか。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・タクシーの売り上げは新型コロナウイルス禍前と比べ約 8 割まで回復した。 ・現在は運転士不足が深刻であり、供給が難しい状況である。直近では長岡まつりが心配であり、イベントがあるとタクシーは対応しきれない。例として、先日市内のイベント帰りにタクシーを利用したかったが、すべて断られたという苦情があった。帰りのシャトルバスが運行されていないこともあってタクシーを利用したかったと思うが、対応しきれないのが現状である。 ・今後タクシー運賃を値上げする場合、公共交通マップに記載している金額と異なる点を申し伝えておく。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・バス業界でキャッシュレス決済を進める背景として、人手不足のほか、現金を扱うことでおつりを用意する必要があり、金融機関での両替に手数料がかかることなどが挙げられる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の公共交通ではさまざまな課題を抱えている状況である。持続可能な地域交通の実現に向けて地域の発展に貢献できるよう皆さまと協力しながら課題解決に取り組むたいと考えている。 ・地域交通の課題の再認識としてお聞きいただきたい。 ・1つ目の課題は、交通需要の減少と人口の減少である。 ・2つ目の課題は、交通インフラの老朽化である。 ・3つ目の課題は、交通手段の不足とアクセスの制約である。 ・4つ目の課題は、高齢化社会による影響である。 ・5つ目の課題は、経済的な持続性である。 ・地域交通会議を通して地域特性や需要などを踏まえた交通戦略を策定し、交通インフラの改善や新たな交通手段の導入などに取り組むたい。 ・また、長岡まつり等も控えており、大勢の方が来場されることが見込まれるため、長岡地域の魅力を伝え、魅力を持ち帰ってもらい、違う地域への地方創生の実現に向けて取り組んでいきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響で高齢者の生活環境も大きく変わった。今年も事業を展開する予定だが、身体的な都合で参加を控えたり、高齢者の交通事故が多発していることから、相乗りで参加するケースが減少しており、集会の参加者も減少してきている。公共交通機関を利用しての参加を促したいが、金銭的な負担もあり高齢者にとっては厳しいということも感じている。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移動手段を持たない高齢者にとって不自由がないよう配慮いただきたい。高齢者にとって外出することは元気の源であるため、高齢者が公共交通を利用しやすい環境を期待している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ EVバスは大きなトラブルなく運行中である。 ・ 利用状況であるが、前年対比路線バスで 103.8%、高速バスで 133.6%、令和元年対比路線バスで 86%、高速バスで 60%であった。 ・ 運転士不足に苦慮している。2024年に労働条件が変わり、勤務間インターバルの休息時間が 8 時間から 9 時間に変更されることでバスの運行に大きな影響があり、終バスを早めるか、始発を遅くするかなどの対応に迫られており、運行本数の調整の可能性もある。 ・ 県内高速バスにおいて、クレジットカードによるタッチ決済サービスを導入した。 ・ 窓口に行かなくてもスマートフォンで定期券が購入できるシステムの導入に向けて準備を進めており、今年度中に運用開始したいと考えている。
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先ほど、市内のイベント時にタクシーが利用できなかったという話があったが、集客が多く見込まれる市の施設等では、主催者に対してフォローが必要である。 ・ ICカードの利用率を上げるため、現金と ICカードで価格差を設けるなど ICカードにインセンティブを与えるのはどうか。 ・ デマンド型乗合タクシーで重要なことは複数人で同乗してもらうことであるため、相乗り時の運賃割引を検討してはどうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来月からタクシーでもながおかペイが利用できるようになる。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3月に実施した EVバス出発式であるが、大変好評に終わった。委員の皆さまにはご支援・ご参列とご協力いただきお礼申し上げます。
【その他】	今後のスケジュールについて
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2回協議会は来年2月を予定している。

(以上)

■ 協議会の様子

